コンタクトレンズ眼障害アンケート調査の集計結果報告

日本眼科医会 医療行政部

コンタクトレンズ（CL）の装用者が増加に伴って、CLによる眼障害が増加傾向にあります。これまで日本眼科医会ではコンタクトレンズ調査小委員会にて、CL使用者のケアに関連する取り組みを行ってきました。

特に、日本コンタクトレンズ学会と協力して、CL使用者に対して、CLに関するアンケート調査を行ってきました。その中から、特に2013年の1年間に全国で二次医療施設にCLの合併症の治療を受けた患者さんを対象に調査しました。

これまでの眼障害は主に角膜の、治療が不十分に使い方に誤った使用をされました。それ自体が主な原因であり、CLの使用者の増加に伴い、CLの使用者の増加に伴い、CLの使用者の増加に伴い